

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：道路環境課
 担当名：補修担当
 内線：5105

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B13	道路環境整備費			一般会計	土木費	道路橋りょう	道路維持費	道路環境整備費	
事業期間	昭和46年度～	根拠法令	道路法			針路	09	未来を見据えた社会基盤の創造	SDGsゴール
						分野施策	0903	埼玉の活力を高める道路ネットワークの構築	SDGsターゲット
<p>1 事業概要 道路の側溝整備、雑草刈払い、植樹帯の管理、除雪等を実施することにより、安心・安全な道路交通を確立し、快適な道路環境を維持する。</p> <p>道路環境維持 △7,373千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 側溝整備 側溝未整備箇所における側溝の新設、側溝破損箇所の修繕、排水施設の改修等を行う。</p> <p>イ 道路環境維持 雑草刈払い、植樹帯の管理、路面清掃、除雪等を行う。</p> <p>ウ 保守点検 アンダーパス部の雨水排水ポンプ等の保守点検を行う。</p> <p>エ 県営渡船維持管理負担金 主要地方道熊谷館林線 赤岩渡船の維持管理負担金。</p> <p>事務費の節減による減額補正 △7,373千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 側溝整備 : 国道122号(羽生市) 外32箇所</p> <p>イ 道路環境維持 : 県内全域</p> <p>ウ 保守点検 : 県内全域</p> <p>(3) 事業効果 道路環境を維持管理することで交通の安全を確保するとともに、道路利用者及び沿道居住者の生活環境の保全を図る。</p> <p>(4) その他 負担対象：主要地方道熊谷館林線(赤岩渡船) 対象経費：赤岩渡船の運営に要する経費 負担率：1/2 相手方：群馬県 工期：平成4年度～ 過去の実績 平成28年度当初予算額：3,110,362千円 平成29年度当初予算額：3,204,023千円 平成30年度当初予算額：3,236,008千円 平成31年度当初予算額：3,332,923千円 令和2年度当初予算額：3,500,505千円</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 地方道路等整備事業債 交付率 90% (通常分90%) 緊急自然災害防止対策債 交付率 100% (通常分100%)									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.63人=24,985千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		繰入金	諸収入	県債					
決定額	△7,373							△7,373	3,653,866
現計額	3,661,239	100,000	5,500	294,000				3,261,739	

事業内訳書

事業名	道路環境整備費		
単位事業名	道路環境維持	予算額	△ 7,373千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△1,869	—	事務費の節減による減
需用費	△1,283	—	事務費の節減による減
役務費	△4,221	—	事務費の節減による減
合計	△7,373	—	